

企業価値と環境リスク ～資産運用と情報開示の観点から～

企業評価の中核要素となった非財務情報！企業価値をどう高め、どうコミュニケーションをとればよいのか。統合報告、ステュワードシップ・コードなど情報開示、IRの新たな課題にどう対応すればよいのか。

環境リスク、自然資本をテーマに投資家や情報ベンダーの視点を踏まえ、企業のESGや情報開示のあり方について、具体的に解説、提言します。

開催日時：2014年12月11日(木)13時30分から16時30分 (開場 13時10分)
会場：東京ビッグサイト 会議棟1階 102会議室

東京都江東区有明3-10-1

りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約7分

ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車 徒歩約3分

主催：自然資本研究会

後援：国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP FI)、公益財団法人トラスト未来フォーラム

受講料：無料

定員：100名 (定員になり次第締め切ります)

プログラム(予定)： ※プログラムは予告なく変更されることがあります

《第1部 講演》

基調講演 『環境リスクを取り入れた企業評価』

～企業評価のメインストリームとなる環境リスク、自然資本リスク～

株式会社日本総合研究所 創発戦略センター/ESGリサーチセンター
理事 足達英一郎

講演 『環境情報をグローバルに発信する情報ベンダー』

～投資判断に活用される環境ビッグデータとグローバルに比較される日本企業～
ブルームバーグL.P.

ESGアナリスト 黒崎美穂

『自然資本に関する戦略立案と統合報告のための定量評価手法』

～自然資本リスクを定量的に算定する企業経営の意思決定支援ツールの紹介～
プライスウォーターハウスクーパース サステナビリティ株式会社

取締役 公認会計士 阿部和彦

『自然資本を投資商品にインテグレートさせる金融機関』

～ステュワードシップ・コードや本格化するESG投資の状況を踏まえ～

三井住友信託銀行 経営企画部 CSR推進室 CSR担当部長
チーフ・サステナビリティ・オフィサー(CSO) 金井司

《第2部 パネルディスカッション：企業価値を高める情報開示の課題と今後の展望》

【同時開催展】

12月11日(木)から13日(土)の間、エコプロダクツ展の三井住友信託銀行のブースにおいて自然資本をテーマに展示を行っております。

本セミナーに関する内容もございますので、東京ビッグサイト東4ホールの『生物多様性ゾーン』に、ぜひお越しください。

【セミナーのお申込方法】

件名を「自然資本セミナー申込」とし、①氏名(フリガナ)、②所属、③部署・役職、④電話番号を明記のうえ、下記のメールアドレスまでお申込ください。

お申込先： 自然資本研究会事務局

三井住友信託銀行 経営企画部 CSR推進室

e-mail: csr@smth.jp

電話: 03-6256-6251